

1. 経営成績及び財政状態

(1) 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等

当第3四半期の自動車業界におきましては、国内販売は普通乗用車が前年を下回ったものの、小型乗用車、軽自動車の前年同期を上回る好調な販売となったため、全体としてほぼ前年同期並みとなりました。一方、輸出はアジア、欧州向けが前年同期を下回りましたが、北米等の他地域向けが好調であり、全体として前年同期並みとなりました。この結果国内自動車生産台数は、ほぼ前年同期並みを維持する結果となりました。

このような環境の中で、当第3四半期の業績につきましては、連結売上高はスイッチ類、シートベルト、キーロックなどの販売が増加したため、258,523百万円と前年同期に比べ29,314百万円(12.8%)の増収となりました。利益につきましては、売上高が好調に推移したことに加え、合理化にも積極的に取り組んだ結果、連結経常利益は16,248百万円と前年同期に比べ3,263百万円(25.1%)、連結四半期純利益は10,645百万円と前年同期に比べ2,942百万円(38.2%)それぞれ増益となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

当第3四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、28,312百万円となり前期末より7,669百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16,163百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益16,325百万円、減価償却費9,716百万円による増加と、法人税等の支払7,753百万円による減少が主なものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,151百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出13,407百万円や有価証券の売却及び満期償還による収入7,484百万円が主なものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,565百万円となりました。これは配当金の支払額2,012百万円や短期借入金の減少1,854百万円が主なものであります。

なお、当第3四半期中に当社発行第5回無担保転換社債が7,775百万円転換され、当第3四半期末残高は620百万円となりました。転換により資本金は22,551百万円、資本剰余金は24,805百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報等

当社を取り巻く経営環境および当第3四半期の経営成績等を勘案し、連結・個別とも、平成17年10月31日発表の業績予想を修正いたします。

修正後の業績予想は連結については前頁に、個別については末尾頁に記載しております。

なお、当期よりブラジル、台湾およびタイの連結子会社3社の決算期を変更する予定であります。連結業績予想には当該連結子会社の15ヶ月間の損益取引が含まれており、この決算期変更による影響額は売上高4.4億円、経常利益6億円、当期純利益5億円程度が含まれております。

また、当該予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。